

きずな



北九州市立折尾西小学校

学校だより 1月号

令和3年1月6日(水)

校長 成重純一

あけましておめでとうございます

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

例年は、冬休み明けに、生活に節目をつくる始業式があります。今年は、2学期制のため、それがありません。「後期の後半が始まった。」という感じです。それぞれの学級で、冬休みの生活とは違う学校での生活にリズムを戻せるように指導をしているところです。就寝時刻、起床時刻は戻っているでしょうか。感染症の予防対策としても、しっかりと栄養と休養をとらせてください。どうぞよろしくお願いいたします。



正解がはっきりしない社会を生きる子どもたち

新型コロナウイルスの感染拡大は、我々の生活を一変させました。そんな状況で、「経済活動と感染予防の両立」をみんなで実現しようと努力を重ねているところですが、国民全員が納得する方策は発見されていません。つまり、正解がないのです。

学校では、正解がはっきりした問題を解決させることも大事にしていますが、同時に正解がはっきりしない問題にも挑むことができるようにしています。「大量の正解を記憶し、テストのときに再現できる力」だけでは、子どもたちは、これからの社会を生き抜いていくことはできないでしょう。友達とアイデアを出し合い、全員が最適だと思ふところで折り合いをつけ、決まったことには従う。そして、実行に移して問題があれば、改善策を考える。こんな問題解決の体験をさせたいと思っています。



タブレット端末が納品されました

先月、GIGAスクール構想による事業で、5年生以下の分のタブレット端末が納品され、全員1人1台を持つことになりました。(低学年は、共用となっています。)同時に、タブレット端末の保管庫も納品されました。各教室に設置されています。これから有効に活用していきます。

校区内を工事車両が走ります

折尾地区総合整備事業で、オリオンプラザ第1ビル解体工事に伴う埋め戻しのため、大膳二丁目3番付近(国道3号線に面した旧ナカイ敷地)にある仮置き土砂の運び出しをします。作業は、登校時刻にはかかりませんが下校時刻には行われています。北九州市建築都市局折尾総合整備事務所の話では、出入口に誘導員を配置し、ダンプカーと子どもが接触しないようにするとのことでした。